

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和7年度 第1回 福津市営住宅審議会
開催日時		令和 7 年 6 月 5 日(木) 午前・ 午後 1 時 30 分から 午前・ 午後 3 時 00 分まで
開催場所		福津市役所 2 階 庁議室
委員名		(1) 出席委員 田上会長、芳賀副会長、 中野委員、武田委員、大庭委員 (2) 欠席委員 なし
所管課職員職氏名		総務部管財課長 木原秀和 総務部管財課管財係長 池田明子 総務部管財課管財係 山崎黎斗
会 議	議 題 (内 容)	今後のスケジュール 市営住宅長寿命化計画策定内容 入居者アンケート（案）について
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	—
	傍聴者の数	1 名
	資料の名称	・ 会議次第 ・ 福津市営住宅審議会委員名簿 ・ R7 審議会スケジュール ・ 市営住宅長寿命化計画策定内容 ・ 入居者アンケート(案)
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録
		☐ 録音テープを使用した要点記録
		☒ 要点記録
		記録内容の確認方法 文書決裁
その他の必要事項		

審議内容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

議事進行 田上会長

1. 委員等の紹介

はじめに、池田係長より4月1日付の人事異動による委員の変更及びオブザーバー参加予定であった県住宅計画課住宅指導係長の欠席の説明を行った。その後、事務局員の自己紹介を行った。

2. 今後のスケジュール

続いて池田係長より、配布資料を元に令和7年度審議会スケジュール予定の説明を行った。

（大庭委員）

アンケート内容は今日決定するのか。

（事務局）

今後のスケジュールがタイトなため、今日決めたいと考えています。

（武田委員）

アンケートは郵送するのか、直接配るのか。

（事務局）

予算の関係もあるため、郵送にするか直接投函するかはアンケートを実施するまでに検討し決めたいと思います。回答に関しては返信用封筒を用意し、郵送する方法を予定しています。

（中野委員）

アンケート回収率は100%の予定か。

（事務局）

100%回収は難しいが、なるべく回収率は上げたいと考えています。途中の回答状況を見て、呼びかけを行う等の対応を行います。

（中野委員）

書くことが困難な居住者には聞き取りで対応するのか。

（事務局）

表紙に分からないことがあれば管財課に連絡いただくよう記載しているので、そこに書くことが困難な場合も含めて相談いただくように追記します。

(大庭委員)

アンケートは無記名方式か。また、無記名の場合は団地ごとのニーズの把握が難しくなると思うが、そこはどうするのか。

(事務局)

無記名方式の予定です。また、アンケートの最初の設問に団地名を記入する欄があるため、それをもって団地別の傾向は集計します。

3. 市営住宅長寿命化計画策定内容

続いて池田係長より、配布した市営住宅長寿命化計画の策定内容について説明を行った。また、一部、データとグラフ作成が間に合わず、データやその説明文が記載されていない部分があることを説明した。

(芳賀副会長)

空家はすぐに入居できるのか。

(事務局)

退去後に修繕を行い、それが完了次第入居案内をする形になります。現在は修繕が完了していない空室もあるため、全ての空室にすぐに入居案内できるわけではありません。

(田上会長)

図や表に通し番号を付けるべきではないか。また、入居状況のデータについて、空家の戸数に関しては修繕して入居できる部屋と募集停止しており入居できない部屋があるはずであり、それらを分けて示すべきではないか。

(事務局)

書き方に関してはこれから検討しますが、それぞれ分かるように表記します。

(武田委員)

収入の「分位」とは何でしょうか。

(事務局)

公営住宅の家賃は所得に応じて8段階で定められており、その段階を「分位」と表記しています。

(武田委員)

所得が多い方が「第1分位」か。

(事務局)

所得が多い方が「第8分位」となります。

(田上会長)

少し分かりにくいので、分かりやすくした方が良いのでは。細かい金額まで書くと収入が分かってしまうのでどこまで書くかは判断が難しいが。

(事務局)

どこまで書くかは検討しますが、最低限第1分位と第8分位でどちらが所得の高い方なのかは分かるようにします。

(中野委員)

「給与住宅」というのは社宅のことか。

(事務局)

社宅のことです。

(田上会長)

企業が社員用に民間アパート等を借り上げている場合も給与住宅になります。

(田上会長)

「長寿命化計画の位置づけ」において、国の「公営住宅等長寿命化計画策定指針」と、前計画にも記載されていた公営住宅法や住宅セーフティネット法の記載がいのではないか。また、福津市は最上位の総合計画は何になるのか。

(事務局)

修正し、記載します。また、福津市では「福津市まちづくり基本構想」が最上位の計画となっています。

(田上会長)

民間の賃貸住宅の間取りや面積などの傾向が、不動産会社等への聞き取りで分かると思うので、今後の計画の参考のため確認していただきたい。

(事務局)

確認します。

4. 入居者アンケート(案)について

続いて木原課長より、配布したアンケート(案)の説明を行った。

(武田委員)

同じようなアンケートを10年前に行ったのですか。

(事務局)

アンケートは実施していますが、質問内容は変更しています。そのため10年前との比較は難しくなりますが、あらためて今の居住者の意向を伺う趣旨で作成しています。

(大庭委員)

問 13「別の場所に建て替えることになった場合、建て替え後の市営住宅への入居を希望しますか。」とあるが、場所次第という方もいらっしゃると思うので、回答欄に「希望する・しない」だけでなく「その他」がいるのでは。

(事務局)

設問でフォローすることが難しいため、問 13 及び 12 の回答欄選択肢に「その他」を追加いたします。

(田上会長)

「建替える場合に重要なこと」の選択肢に「和室があること」の選択肢は必要なのか。

(事務局)

現在の市営住宅の居住者の高齢者率が高くなっているため、ニーズ調査のために選択肢に入れています。

(武田委員)

部屋の中を見たことがないので、できれば一度見学させていただきたい。

(事務局)

審議会スケジュールの都合もありますので、現地見学ではなく写真や動画等で共有させていただく形でよろしければ、次回までに用意します。

(武田委員)

お願いします。

(田上会長)

問 11「建て替える場合に何が重要だと思うか」の選択肢に「集会所などの施設が整っていること」とあるがそれに関連して、地域との繋がりに関する設問か選択肢があると良いのでは。今は近所づきあいがそう多くないのか。

(武田委員)

私は原町 1 区の自治会長で後添団地の方とも繋がりがあるが、後添団地は全員ではないが賛同してもらえる方が組に入り、組費を納めている。また、組費に加えて自分たちでお金を集めて草刈りをシルバーに委託していると聞いたことがある。組長の専門部が自治会の中にあるが、市営住宅の方はこちらから専門部には入らなくて良いと伝えている。ゴミ収集には来ていただいているが、地域のお祭りなどの参加率は低めだと感じている。ただし、住民からの要望などは組長を通して自治会長に上がってくことはある。

(事務局)

地域との繋がりに意識が向くよう、アンケートを工夫します。

次回の審議会は8月上旬の予定です。事前に日程調整させていただき、日時を決定したいと思います。

他に質疑が無かったため、会長が会議の終了を宣言した。